

第6回日本サイン学会・デザインフォーラム ご案内

2011.08.22

<開催主旨>

日本サイン学会は、サインに関する学際的な研究の進歩発展に寄与することを目的として、1989年に創設されました。それから20年余り、インターネットの普及や景観法の施行など、社会における情報環境は変化し、サインの果たすべき役割は益々重要になってきました。さらに、本年3月11日に発生した東日本大震災に代表される、度重なる大規模災害によって、命を守り、心を育てるサインの必要性が再確認されました。そこで今年度は、サイン学の原点に立ち返り、人が生きていく上で欠かせないサインに焦点を当て、関連の研究報告を行い、活発な議論を通してサイン学の果たすべき役割を考えるデザインフォーラムを計画しました。開催主旨ご理解の上、皆様のご参加をお待ちしております。

<開催概要>

1. エキスカーション

日程：平成23年9月25日（日）

内容：千本格子の伝統的町並みが残る高岡鋳物発祥の金屋町一帯を使って開催するゾーンミュージアム。隈研吾デザインのアルミ製什器に工芸の逸品を展示販売する他、お茶会や和装を楽しむ「きもの通り」など多彩なイベントが開催されます

<http://www.kanaya-rakuichi.jp/>

詳細：11：00 高岡駅地下芸文ギャラリー集合・見学

11：30 昼食 鮭金（全国区の有名店・12名まで） 0766-23-5781

12：20 コミュニティバスこみち乗車

13：00 金屋町の概要ガイド

14：00 自由行動

17：17 横田町より乗車

18：10 万葉線乗車

19：00 新湊（新町口下車）懇親会 割烹かわぐち 0766-84-1331

22：00 新町口発

22：40 高岡駅到着

第1日参加費：12,000円（昼食代、交通費：コミュニティバス+万葉線、夕食代）

2. 理事会

日時：平成23年9月26日（月）10：30～

会場：高岡マンテンホテル2階 BON

3. 総会

日時：平成23年9月26日（月）11：00～

会場：高岡マンテンホテル2階 BON

4. 昼食会

日時：平成23年9月26日（月）12：00～

会場：高岡マンテンホテル2階 BON

5. デザインフォーラム「命と心のサイン学」

日程：平成23年9月26日（月）

13：30 開会

13：40 研究報告 Part I：視覚の基礎～命を救うサイン

- ・「非常口へ、そして避難場所へ」（仮題）

太田幸夫／グラフィックデザイナー、NPO 法人サインセンター理事長、太田幸夫デザインアソシエーツ代表、1992-2010 多摩美術大学デザイン学科教授、日本サイン学会理事・前会長、日本デザイン学会評議員、同環境デザイン部会幹事、A.マーカスアソシエーツ日本代表

- ・「医療環境のサインデザイン」（仮題）

島津勝弘／島津環境グラフィックス有限会社代表 クリエイティブディレクター
日本サインデザイン協会副会長

- ・「情報のユニバーサルデザイン」（仮題）

木村 浩／筑波大学大学院人間総合科学研究科 芸術学系教授 日本展示学会副会長

15：10 休憩

15：30 研究報告 Part II：視覚の応用～心を育むサイン

- ・「都市景観とサインデザイン」（仮題）

佐藤 優／芸術工学研究院コンテンツ・クリエイティブデザイン部門教授、福岡県景観審議会会長、佐賀県美しい景観づくりアドバイザー、希望郷いわて文化大使、アジア景観デザイン学会会長、芸術工学会理事・前会長、日本サイン学会理事・前会長

- ・ 「福岡式景観アーカイブシステムの取り組みについて」

篠崎慎一／福岡市住宅都市局都市づくり推進部 都市景観室 屋外広告物係長

- ・ 「屋外広告物コントロールの目的と手法」(仮題)

武山良三／富山大学芸術文化学部教授、北陸地方整備局景観施策アドバイザー、岩手県・佐賀県・富山県景観アドバイザー、全日本屋外広告業団体連合会学術顧問、日本サインデザイン協会常任理事

17:00 閉会

第2日参加費：1,000円(会員) 1,500円(一般)、500円(学生)

お問い合わせは、第6回日本サイン学会・デザインフォーラム事務局まで

島津環境グラフィックス有限公司

担当：島津 勝弘